

# 平成23年9月7日開催教育委員会会議記録

## 1 開会・閉会等について

日時	平成23年9月7日(水) 午後2時00分
場所	教育委員会室
開会	午後2時00分
閉会	午後3時30分
出席委員	
委員長	高木新太郎
委員	横井利男
委員	鈴木みゆき
委員	雁部隆治
教育長	横山信雄
説明のために出席した職員	
教育委員会事務局次長	小暮真人
庶務課長	後藤隆宏
学務課長	藤田悟
指導室長	橋爪昭男
すみだ教育研究所長	渡部和美
生涯学習課長	金子しのぶ
スポーツ振興課長	中山賢治
あずま図書館長	村田里美

## 2 会議の概要

- **高木委員長** それではただ今から教育委員会を開催したいと思います。本日の会議録署名人は雁部委員にお願いいたします。

### 議決事項第1

議案第57号「平成24年度墨田区立小・中学校募集人数について」の案件を上程し、学務課長が説明する。

- **高木委員長** 何かご質問はございますか。

- **雁部委員** 八広小は募集停止をやめるということは、応募者全員を入れなければならないということですね。
- **学務課長** 募集の人数は入れなければならないということです。
- **高木委員長** 一般にアナウンスする時は、この表は出るのですか。
- **学務課長** 出ることになります。
- **高木委員長** 出るとすると、八広小の関係者などからは「124人という人数は入れないのでは？」となりませんか。
- **学務課長** これまでの入学率等の実績などを考えると妥当な数字であると思います。 実際には、住基に記載されている子どもが全員入っていないという実態もありますので、当面、3クラスで募集したいと思っています。
- **高木委員長** 八広小の場合にはこれまで募集停止していたのだから、停止よりはやや改善したということ強調しないといけないのではと思います。
- **教育長** 八広小は昨年度は募集停止をしましたが、実際フタを開けてみれば余裕が出た状況となりました。しかし、募集停止しているから、せっかく希望者が居ても受け入れることができなかつたとの指摘をいただきました。今回は応募する方には、可能性は低いけれども、一応選択希望は受けさせていただきますとの説明をいたします。実際フタを開けてみて可能だったらその順位で受け入れるという形の方がより合理的で、保護者のニーズにも応えられるのではということです。
- **高木委員長** ですから去年よりは前進しているということを強調した方がいいと思います。問題は緑小学校ですよ。
- **雁部委員** 仮に、八広小の学区域内の子どもが全員八広小に行くとなった場合は、クラスを増やすことになるのですか。結果を見て対応するということになるのですか。
- **学務課長** 通学区域内の子どもが全員八広小を希望して、その結果が4クラスになるということであれば、それは対応せざるを得ないと思います。
- **雁部委員** そういうことであれば、初めからそういう条件の教室を使用すると説明しておかないといけないのでは。入学してから、普通の教室を使用できないとなるとマズいのでは。
- **庶務課長** 八広小と柳島小については、普通教室の使用でなんとかなると思われませんが、緑小は普通教室ではない教室を使用する可能性があります。
- **教育長** 当然、普通教室にふさわしいような改修は行いますが、他の普通教室と比べると若干異なる場合があると思われます。
- **高木委員長** そこで、この表が出るとなると、この表の※の2番目で「通学区域の学校を希望する方は、受け入れ人数にかかわらず全員入学できます」という文章表記が気になるんですね。これが緑小に該当するのではと。
- **教育長** この表の表現は、現実問題として緑小の学区域内の78人が全員緑小を希望されたら、教室使用に若干問題があるにせよ3クラスにいたしますし、八広小でも124人の方が全員希望すれば4クラスにしますということにして、状況に応じて、そうしますという表現なのです。当然、それが我々の義務ですから。
- **横井委員** 二つお聞きしますが、今話題に出ていた学校は、余裕枠の20人が無い訳ですね。無くて大丈夫なのですか。 もう一つが、それであればあらかじめ募集人数を、緑小を50人、八広小を85人としておくことはできないのですか。

- **教育長** それは少し現実離れした数になってしまうというか、過去の入学率なども加味しながら、こういうレベルの数字にしています。
- **横井委員** 緑小で学級を増設された場合、その教室は1年生が使用することになるのですか。
- **庶務課長** それは学校運営上の話しになりますので、何年生になるのかは分かりません。
- **雁部委員** 一クラス35人学級は、1年から6年まで全学級ですか。
- **学務課長** 1年生のクラスだけです。
- **高木委員長** 今は2校3校についての話ですが、今後もこのような話の学校は出てくるんですね。
- **教育長** 今後は二葉小、第二寺島小、あと押上小あたりに問題が出てくるのではと予想されます。

- **高木委員長** 他には何かございませんか。それでは、議決事項第1、議案第57号「平成24年度墨田区立小・中学校募集人数について」は、原案どおり決定したいと思います、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

- **高木委員長** それでは、原案どおり決定いたします。
- **高木委員長** 以上で予定の議決事項は終了いたしました。次に報告事項に入りたいと思います。

#### 報告事項第1

資料1「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画の当面の進め方について」を庶務課長が説明する。

- **高木委員長** この報告事項第1については、連絡協議を2、3回行ってきたことを取りまとめて今回報告事項に挙げたものでありまして、何も議論も無くそのまま報告事項としたのではないということをつけ加えておきます。
- **教育長** 統合に関しまして今後の進め方としては、本日の報告を受けて、議会へ、これまでの経過も含めて正式に報告をいたします。その後地元の方々にも説明させていただきます。
- **雁部委員** 先ほどの募集人数に関連して、吾嬭第一中と立花中の統合が26年度にあります、来年度入学する1年生が2年生になる時に統合されるわけで、何かお知らせする必要があるのでは。
- **庶務課長** なんらかの形でお知らせいたします。
- **学務課長** 希望選択書類を保護者へ発送する際に、そういう内容で作成したお知らせを同封する予定です。

#### 報告事項第2

資料2「「開発的学力向上プロジェクト学習状況調査」の結果について」をすみだ教育研究所長が説明する。

- **高木委員長** 何かございますか。この資料は、ホームページへの公表と各学校への情報提供の他に、各個人への個表がありましたよね。
- **教育研究所長** 学習状況調査の個表で、面談等の席で内容の説明をしながら、保護者へお渡ししています。
- **高木委員長** こういう調査の際に大事なものは、最初からやる気の無い「無回答発生率」の検証です

が、その辺りはどうなっていますか。

- **教育研究所長** 記述式の問題は、国語力の低下などから選択式よりも多いと思われます。学年進行に伴い無回答率も上がっていますが、学習内容や設問が複雑化していくことも理由のひとつだと思います。今回、国語の書く力読む力が低かったので、今後重点的に取り組みが必要と思い、8、9月の学校長との授業改善ヒアリングの席上でこの問題を提起し、各教科で書く事を取り入れた授業を進めることを要望しました。
- **高木委員長** 学年進行とともに無回答率が上がるということは、だんだんやる気が無くなるということか、中3がダメだということになりますか。数学、社会の数字は歴然としていますよね。やろうと思って出来ないのと、最初からやる気が無いのは全然違いますけど。その辺は、学校が生徒の事はよく知っているんだから。
- **教育研究所長** 無回答率の事も、各校長とは話をしているところです。
- **高木委員長** 国語の、新聞を読む率を見ると小3から急に落ちますよね。理由は把握していますか。
- **教育研究所長** 読む本が絵本から文字へ変わるのが、その頃と考えました。文字を読むようになった時に、どのくらい本や新聞を読む習慣を付けるかによって、その後の割合が変わりなく進むということがこの表から読み取れました。低学年のうちから本や新聞を読むことを習慣付けることが大切ではと考えます。
- **高木委員長** 国語の理解と達成率が、小2の時はほぼ同じだけど、小3になるとバツと開くんですよ。
- **教育研究所長** 小学校低学年では褒めて伸ばすという指導法を先生が心掛けてるのではないかと思います。褒められる子は、自分は出来るという意識を持ちますが、まだ小3では自分を客観視することが出来ないで、小3の段階で理解と達成率が開いていくのではと考えました。
- **横井委員** 前から思うのですが、こういう学力向上プロジェクトとしてデータを揃えるのは大変意味があると思うのですが、研究所と指導室で前もって研究しておいて、指導の窓口を一本化できないのかと感じているのですが。こういうものに指導室はどういう関わり方をしているのかとかいうか、学校側からすると、研究所と指導室の位置付け方をどうしていいか明確でないのではと思われます。
- **教育研究所長** 今回の授業改善ヒアリングで学校から頂いた資料は、全て指導室へ提供する予定です。
- **次長** 横井委員がおっしゃったように、指導、学校の現場にどう活かすか役立てるかは、平素の先生に対する指導が重要だと思います。今ご指摘されたのは、今私たちが一番課題としていまして、研究所だと後期の授業改善プランについてどうするかというところに力を使ってしまうので、これを現場で指導にどう活かすかは、指導室の範疇になってくるのではないかと思います。その辺の対策を来年度に向けてどう立案していくかということもあるので、その辺は研究所と指導室みたいに分断するのではなく、事務局の中で体系的にやらなければならないので、その辺は今後の宿題とさせていただきます。そこは意識してこれまでも指導室の方も、これまでもデータを基に、通常の授業改善や研修等に役だっているんですが、それが目に見えていないのではないかと思います。
- **鈴木委員** 確かに本や新聞を読むという回答を見ると、3年生でガクッと下がっていて、おっしゃるとおり読書習慣との関係があるとは思いますが。例えば、ここで結論として書かれている「小学校低学年での読書習慣の定着が重要であることが分かる」と書いてありますけれども、小学校低学年段階では絵本を読んでいれば読書習慣があると考えられているようですが、絵本から幼年文庫や素

話しを聞くなど、同じ読書やお話に触れる方法でも違うやり方も考えていった方がいいのではと思われます。その辺は現場の先生と指導室や研究所と一緒に考えていってほしいと思います。

- **教育研究所長** 今後の検討課題といたします。
- **高木委員長** 個人学習プロフィールとはどういう使われ方をするのですか。
- **教育研究所長** 個別指導の際に活用されています。学習状況調査で得た情報が書き込まれています。学年が上がった時に、前年の学習状況なども把握できるようになっています。
- **高木委員長** それが学力向上プロジェクトにどう活かされているのかよく分からない。利用価値は高いのは分かりましたので、効果的な利用法できちんと活かしてほしいです。
- **教育研究所長** わかりました。
- **横井委員** 個人学習プロフィールと指導要録、通知表との連携というか、ICT化に向けて上手く連携させるような方策があればいいなと思います。
- **高木委員長** 特に通知表と個人学習プロフィールとの関係が、有るのか無いのかよくわからないんですよね。実質的な評価は通知表な訳ですし。
- **教育研究所長** 今回の学習状況調査の内容は通知表とは関係がなくて、個人学習プロフィールのみに活用しているものです。
- **高木委員長** それは充分に分かりましたが、学力というベースについて両者に関係があるわけですよ。その間に、常識的に考えると同じように動くのかなと思うのですが、違うお子さんもいるわけですよ、きっと。そういうところが気に掛かるんですよ。

### ○ 報告事項第3

資料3「第3次墨田区生涯学習推進計画（素案）について」を生涯学習課長が説明する。

- **高木委員長** 何かございますか。では、この生涯学習推進計画について何かご質問がありましたら、後日生涯学習課長までご連絡してください。

### 報告事項第4

資料4「平成23年度幹部職員人事異動について」を庶務課長が説明する。

- **高木委員長** 何かございますか。

### 報告事項第5

資料5「墨田区学校安全衛生委員会の変更について」を庶務課長が説明する。

- **高木委員長** 以上で予定の報告事項は終わりますが、他に何かございますか。

### その他

- **雁部委員** 9月1日に小学校の防災訓練に行ってきたんですが、防災訓練という感じではありませんでした。子どもが防災頭巾を被って校庭へ移動するまではきちんとしています、保護者に引き渡した時点で既に訓練の雰囲気ではなくなっていて、保護者はただ自分の子どもを引き取りに来ているだけになってしまっているんです。

保護者にもっと防災訓練の意識を持たせるようにしないと、万が一の時、実際の災害時にはこうは上手く行かないと思います。あと、保護者から「教師や大人はヘルメットを被っているのに、何故

子どもは防災頭巾なの」と質問を受けました。子どもの持っている防災頭巾も、ただ学校から用意するように言われるから作って持たせているだけで、なぜ防災頭巾なのかの意味も分かっていないようです。生地も防災ではない普通のかわいい絵柄の布で作っていたり、保護者の意識に防災の認識が低いんですよね。あと、学校と地域との連携が出来てないので、一緒に訓練するとかの方向に持っていかないといけないと思います。

- **高木委員長** まあ、私の行った学校でも、防災訓練なのに自転車で引き取りに来ていたり、スリッパを持って来なかったり、そんな感じでした。日程的にも墨田区はせつかく2学期制なんだから、夏休み明けの9月1日にやらなくても、他の日でもいいのではと思いますが。
- **横井委員** 私は、防災訓練の意味は二つあって、防災意識を高めることが一つ。もう一つは、緊急時でも子ども達が整然と行動できるようにする為の訓練なのではと思います。親の意識を変えるのは、別の問題だと思います。ただ、3月にあった震災以降、保護者の引き取り訓練への参加率が上がったようです。
- **雁部委員** 小梅小では土曜日に訓練を実施しています。
- **高木委員長** 皆様の方で他には何かございますか。それでは以上で予定の議決事項及び報告事項は終了しました。これで教育委員会を閉会します。